

令和4年11月15日から16日

1 半田市議会（愛知県半田市）

【調査事項】

部活動の地域移行に関する取組について

【調査目的】

全国に先駆け小中学校の部活動地域移行に取り組んできた半田市の取組経過や課題について調査を行い、本府における部活動の在り方や教職員の働き方改革の実現に向けた地域部活動の在り方に関する施策の参考とする。

【調査内容】

平成6年、半田市校長会は半田市小中学校部活動検討委員会を発足させ、学校週5日制実施時の学校部活動の在り方について研究し、平成11年3月に学校週5日制の趣旨を踏まえ、部活動は土日祝日には実施しないことを答申した。半田市はこの答申を踏まえ、平成14年3月、原則部活動は土日祝日には行わず、中学生がスポーツをする場合は地域のスポーツクラブで活動することを内容とする半田市スポーツ振興計画を策定し、全国に先駆けて学校部活動の地域移行を実施したが、次のような問題・課題が発生した。

- ・地域指導者の確保が難しく、教員が土日祝日も指導しており実態が変わらない。
- ・会費のみを財源とするスポーツクラブは、教員の謝金の支払いが困難
- ・試合が土日祝日に行われるため、土日祝日に中学校の部活として試合に参加することが多い。
- ・土日祝日の活動にスポーツクラブの会費を払わなければならない、教員、保護者の理解を得るのが困難

半田市では、これらの課題や原因を整理し、課題解決を図るための方向性を検討し、平成24年4月、中学校部活動について「これまで、原則的に土曜日、日曜日の学校部活動は行わないこととしてきたが、祝日も含め、学校長の判断によって部活動として実施することができることとする」運用に改正した。

今後、休日の中学校部活動が段階的に地域移行することが予想されるため、行政・学校・総合型地域スポーツクラブが連携を図り、中学生の体力維持・向上やニーズに応じた活動ができる環境整備に努めるとともに、半田市と包括連携協定を締結している日本福祉大学と連携し、永続的な活動のための研究を進めていくとのことであった。

【主な質問事項】

- ・総合型地域スポーツクラブの会費が支払えない世帯に対する対応について
- ・学校地域共同利用施設による学校及び地域のメリット、相乗効果について
- ・学校教育共同利用施設建設費の予算の枠組について など



調査事項を聴取



調査後半田市議会視察

2 NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ（愛知県半田市）

【調査事項】

総合型地域スポーツクラブの運営及び部活動の地域移行に係る現状について

【調査目的】

学校週5日制を視野に、小中学生のスポーツ活動を総合的に支える事業体として設立されたソシオ成岩スポーツクラブの取組や課題について調査を行い、本府における部活動の在り方や教職員の働き方改革の実現に向けた地域部活動の在り方に関する施策の参考とする。

【調査内容】

ソシオ成岩スポーツクラブは、学校と地域が連携し小中学生のスポーツ活動を総合的に支える事業体として1996年に設立され、2002年に法人化された。2003年12月、地域の要望により、中学校体育館の建て替えに際し、学校と地域との共同利用を前提としたクラブハウス（社会体育施設）を半田市が整備し、管理運営はソシオ成岩スポーツクラブが受託している。成岩中学校の敷地内にあり、学校地域共同利用施設という位置付けどおり、中学校の体育館としての機能と、地域スポーツクラブのクラブハウスとしての機能が一体となっており、学校の施設を地域のクラブが管理し、部活動のサポートも行うという先進的な取組を行っている。

ソシオ成岩スポーツクラブでは、幼児から中学生までの14競技を実施しており、アスリートによる質の高いプログラムを行う等多様なニーズに応えている。地域住民の13%にあたる約2,900名の協賛会員が財政基盤となっており、53名のボランティアアシスタントが毎週末子どもたちの活動のサポートに当たっている。

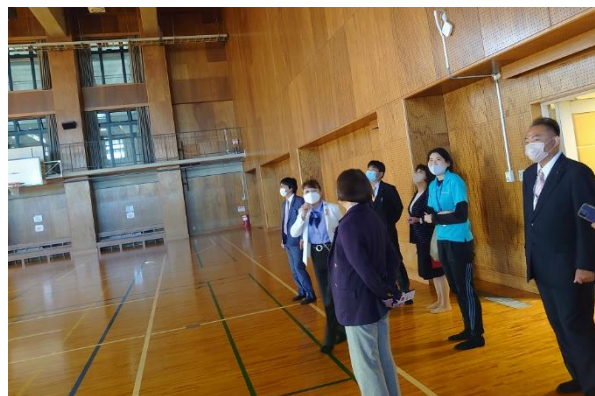
今後は、総合型地域スポーツクラブが事業実施主体となり、地域・学校・行政と連携しつつ、多世代にわたる住民スポーツサービスの充実、発展を図り、学校施設を拠点とするコミュニティスクール・クラブを目指していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・総合型地域スポーツクラブの会員登録資格、年会費について
- ・すべての子どもたちの活動機会を保障するための取組について
- ・部活動を地域移行した際に生じた問題や課題について など



調査事項を聴取



施設視察

3 公益財団法人静岡県舞台芸術センター（静岡県静岡市）

【調査事項】

静岡県舞台芸術センターにおける舞台芸術の振興の取組について

【調査目的】

舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的とする公益財団法人静岡県舞台芸術センターの取組について調査を行い、本府における文化・芸術の振興に関する施策の参考とする。

【調査内容】

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としている。

SPACの特徴ある活動として、未成年の児童・生徒に対する人材育成事業がある。中高生の学校教育の課程の中に組み込まれ、無料でSPACの公演に招待する「中高生舞台芸術鑑賞事業」をはじめ、夏季の短期間に集中的に演劇の基本学習を行う「SPACシアタースクール」、高校演劇部に対する「1日演劇学校」など、多彩に児童・生徒向けに事業を展開している。

また、静岡県は、演劇をテーマとして多くの人々が集い、劇場や公園、周辺の文化・観光施設まで含めて地域全体が演劇をキーワードに活性化する状態を示す「演劇の都」構想を令和3年度に策定している。構想の実現により、音楽の都ウィーンのように、演劇といえばSPACのある静岡が都であると定着し、多くの人々が本県を訪れる契機となってほしいとのことだった。

【主な質問事項】

- ・舞台芸術センターの俳優やスタッフの収入状況について
- ・貸館を実施しない理由について
- ・財団の基本財産の推移について
- ・財団の事業実施状況及び収支状況について など



調査事項を聴取



舞台芸術センターを視察

4 静岡市議会（静岡県静岡市）

【調査事項】

プロスポーツを生かしたまちづくりについて

【調査目的】

プロスポーツチーム等と連携し、スポーツの力で誰もが健康で心が満たされるまちの実現を目指す「静岡市プロスポーツチーム等連携プロジェクト」に係る取組について調査を行い、本府におけるスポーツ振興に関する施策の参考とする。

【調査内容】

静岡市では、これまでもプロスポーツチームと連携したまちづくり、ひとづくりを推進してきたが、この取組に企業や地元団体が参画し、ともに活動することを目指して、企業版ふるさと納税を活用した「静岡市プロスポーツ等連携プロジェクト」を令和4年9月に開始した。プロジェクトの流れは、企業等が対象チームを選択して市に寄附を行い、市はチームだけでなく寄附企業や地域の方々と協議し事業化を図っていくものであり、企業や地域の方々が地域の課題について共通認識を持ち、「自分ごと」としてともに取り組んでいくことにより、多様化する市民ニーズ等による困難な課題解決につながるとしている。なお、企業からの寄附金募集については、市だけでなく、各プロスポーツチームが企業に直接呼びかけていただくことにより、チームと寄附企業の意向をより反映した事業の実施ができるとのことだった。

【主な質問事項】

- ・市内企業のプロスポーツチームへの支援状況について
- ・企業版ふるさと納税を使うことに対する市内企業の反応について
- ・キャリア教育にプロスポーツチームが関わることのメリットについて
- ・企業版ふるさと納税を活用して実現したい事業について など



調査事項を聴取



静岡市役所前にて

5 エコパスタジアム（静岡県袋井市）

【調査事項】

エコパスタジアムにおける官民連携のスポーツを活用したまちづくり・地域活性化の取組について

【調査目的】

エコパスタジアムにおける官民連携のスポーツを活用したまちづくり・地域活性化の取組について調査を行い、本府におけるスポーツを活用した地域振興の取組の参考とする。

【調査内容】

エコパスタジアムは、静岡県袋井市の小笠山総合運動公園内にあり、5万人余りの収容力がある静岡県内最大の多目的競技場である。施設は静岡県が所有し、静岡県サッカー協会グループが指定管理者として運営管理を行っている。ラグビーワールドカップ2019™日本大会（4試合）、2002 F I F Aワールドカップ™日韓大会（3試合）、2003 N E W！！わかふじ国体、2006ねんりんピック静岡開会式、Jリーグのジュビロ磐田のホームゲームの一部等を開催している。

世界3大スポーツイベントのうちF I F Aワールドカップとラグビーワールドカップの2つを開催できたことが大きな誇りとのことであり、オリンピックについても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の際、アイルランドオリンピックチームの合宿地として使用されている。

官民連携の取組として、ラグビーワールドカップ開催の成果を将来に継承し、地域共生できる「スポーツ文化」を根付かせたいとの思いから、試合会場であるエコパスタジアムを拠点として、日本初の「女性と子ども」に特化した総合型地域スポーツクラブ「アザレア・スポーツクラブ」が設立された。女子7人制ラグビーチーム「アザレア・セブン」を中心としたスポーツ普及や、セミナーを開催し、スポーツを通じて青少年の健全な育成を目指し活動していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・年間の指定管理料について
- ・エコパウエディングの実績及び費用について など



調査事項を聴取



エコパスタジアムを視察